

# 大館桂桜高3年11人 美しい着こなし 自作浴衣で学ぶ

## 和服の着付け教室



浴衣の着付けを学ぶ生徒ら



着付けを終えた後は記念撮影をした

和服の着付け教室が、大館市片山町の大館桂桜高校で開催された。生活科学科服飾コースの3年生11人が自作の浴衣を使い、講師から美しく着こなすための基本を学んだ。

5月26日に開催し、市内で教室を主宰する細越節子さん(68)ら3人の講師が学校の礼法室を訪れて指導。生徒は授業で作った浴衣を用意し、襟の合わせ方や腰ひもの結び方、帯の締め方などを教わった。

細越さんは「ひもはやや高

めの位置に結ぶと襟元が崩れにくい」「着付けの最中にたすきを閉めたりしない」「帯や足袋など必要な物は全てそろえ、半畳のスペースだけで着られるようにしよう」などとアドバイスした。生徒は手際よく着付けるなど、並んで記念撮影した。島山優来さん(17)は「胸元からおなかにかけて形を整えるのが難しかった。いつか友人や年下の世代の人に着方を教えたい」と話した。

(早坂孝子)